

# 憲法しんぶん 速報版

発行 憲法改悪阻止各界連絡会議（憲法会議）

Eメール [mail@kenpoukaigi.gr.jp](mailto:mail@kenpoukaigi.gr.jp)  
HPサイト <http://www.kenpoukaigi.gr.jp>

第280号

2011年5月1日

Tel 03-3261-9007  
Fax 03-3261-5453

東日本大震災で被災されたみなさまに心からのお見舞いを申し上げます。  
被災者救援に国の総力をあげることを求めます。復興は、住民の参加・合意をもとに、生活と地域社会の再建を土台におこなうことを求めます。救援も復興も憲法を原点におこなうことを求めます。

## 全国各地で「5・3憲法記念」の取り組み

64回目の憲法記念日を迎える5月3日、全国各地で改憲反対、9条守れ、憲法を生かそうと集会や講演会、パレードなどが取られます。（憲法会議調べは別添）

今年の取り組みの大きな特徴は、東日本大震災被災者・地の救援や、復興・復旧を憲法の原点・理念にたっておこなおうという呼びかけが共通していることです。

## 新憲法制定議員同盟が「推進大会」

憲法記念日を前に、改憲派は何らかの動き、成果を見せようと4月28日、国会内で「新しい憲法を制定する推進大会」を開催しました。この同盟は、中曽根康弘元首相が会長をつとめ、民主党、自民党、公明党、みんなの党、国民新党、たちあがれ日本など各党の改憲派議員がつくるものです。首相就任後批判を浴びて退会していた鳩山由紀夫氏が「顧問」に返り咲いています。

## 震災対応を口実に改憲論議

28日に行われた「新しい憲法を制定する推進大会」では「大規模災害にも即応できる憲法」に改正すべきとの「決議」がされました。

また、自民党の石破茂政調会長は衆院予算委員会で29日、被災地への自衛隊員の大量動員や航空自衛隊松島基地の津波被災や、震災後安全保障会議が未開催であることなどをあげ、防衛体制は完全かと迫りました。さらに「緊急事態基本法」（2004年自公民合意）の策定が進んでいないことを批判し、「憲法改正も先送りになっている」と持論を展開しました。これらの議論は、いずれも憲法が国のあり方、国民の暮らしを示し、保障していること、憲法の実現こそが重要であるにもかかわらずこれらには口をぬぐい、震災を奇禍とする卑劣なものです。

## 「比例定数削減反対」ののぼり緊急作成・販売—憲法会議

「削られるのは私達の声 ストップ比例定数削減」をかかげた「のぼり」を緊急発売しました。中央メーデーの集会・デモでお目見えしました。

のぼりは1流800円（送料別）。ご注文・お問い合わせは憲法会議へ。